



Table with 2 columns: Component Name (e.g., 屋外埋設排水, 消火管) and Specification/Notes. Includes details on pipe materials, diameters, and installation methods.

弁類 排水ポンプまわり、消火ポンプまわり、水道直圧部は10Kとし、それ以外は5Kとする。 埋パイニング鋼管を使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。

Table with 2 columns: Component Name (e.g., 横走り管の吊り間隔, ニル管) and Specification/Notes. Details on spacing and material requirements for various piping types.

冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔 基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 液管・ガス管共吊り用場合は 基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 形鋼止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

- (2) ダクト工事 矩形ダクト 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上 ステンレス鋼板 JIS G4305 アングルフランジ工法 共板フランジ工法 スライドオンフランジ工法 山形鋼 JIS G 3101 SUS鋼材 JIS G 4317 形鋼補強 スパイラルダクト 硬質ポリ塩化ビニル管 (多澁面所) JIS K 6741

Table with 2 columns: Material Name (e.g., グラスウール保温材) and Specification (e.g., 保温筒 JIS A 9504 2号 40K). Lists various insulation and pipe materials.

Table with 2 columns: Material Name (e.g., ロックウール保温材) and Specification (e.g., 保温筒、保温帯、ブランケット). Lists rock wool insulation materials.

Table with 2 columns: Material Name (e.g., ポリスチレンフォーム保温材) and Specification (e.g., 保温筒 JIS A 9511 3号). Lists polystyrene foam insulation materials.

Table with 2 columns: Material Name (e.g., 合成樹脂調合ペイント塗り塗料) and Specification (e.g., JIS K 5516). Lists resin-based coatings.

Table with 2 columns: Material Name (e.g., さび止めペイント塗り塗料) and Specification (e.g., JIS K 5621). Lists anti-rust coatings.

Table with 2 columns: Material Name (e.g., アルミニウムペイント塗り塗料) and Specification (e.g., JIS K 5492). Lists aluminum-based coatings.

Table with 2 columns: Component Name (e.g., 保温厚) and Specification/Notes. Details on insulation thickness requirements for glass wool.

Table with 2 columns: Component Name (e.g., 保温厚) and Specification/Notes. Details on insulation thickness requirements for polystyrene foam.

Table with 2 columns: Component Name (e.g., 25mm, 50mm, 75mm) and Specification/Notes. Details on duct insulation thicknesses.

3) 種別 給排水衛生設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

Table with 2 columns: Component Name (e.g., 屋内露出, 機械室・書庫・倉庫) and Specification/Notes. Details on insulation specifications for different pipe types.

- 1) 排水管については、上表暗渠内(ビット内)の仕様を防水テープ巻きに読み替える。 2) サヤ管工法; 架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。 3) 消火管の保温は消防打ち合わせにより決定すること。

Table with 2 columns: Component Name (e.g., 屋内露出, 機械室・書庫・倉庫) and Specification/Notes. Details on duct insulation specifications for air conditioning equipment.

- 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別 保温化粧ケース仕上 SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

Table with 2 columns: Component Name (e.g., 鋼板製タンク, 貯湯タンク) and Specification/Notes. Details on insulation for tanks and heat exchangers.

- 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

Table with 2 columns: Component Name (e.g., 長方形ダクト, 円形ダクト) and Specification/Notes. Details on duct and chimney insulation specifications.

- 1) 煙道ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。 2) 煙道プランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRHS20による防錆処理を施した平ラソ0号で外面補強したものを使用。 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

Table with 2 columns: Component Name (e.g., 配管用炭素鋼管の塗装仕様) and Specification/Notes. Details on painting specifications for carbon steel pipes.

4) 施工

ダクト保温施工範囲

- 1. S A 保温あり 保温なし 図面による その他( ) 2. E A 保温あり 保温なし 図面による その他( ) 3. R A 保温あり 保温なし 図面による その他( ) 4. O A 保温あり 保温なし 図面による その他( )

チャンパー内貼施工

- (4) スリーブ工事

- 1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径(保温されるものは、保温厚を含む)より40mm程度大(φサイズUP)なるとする。 箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板(実管ダクト)とする。 2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管(VU)とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。 3. 地中架以外保接き管スリーブは、亜鉛鉄板製を原則とする。 4. 柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙製板枠としてもよい。 紙製板枠を用いる場合は、変形防止の措置を講じ、かつ、配管施工前に板枠を必ず取除くものとする。

10 共通事項

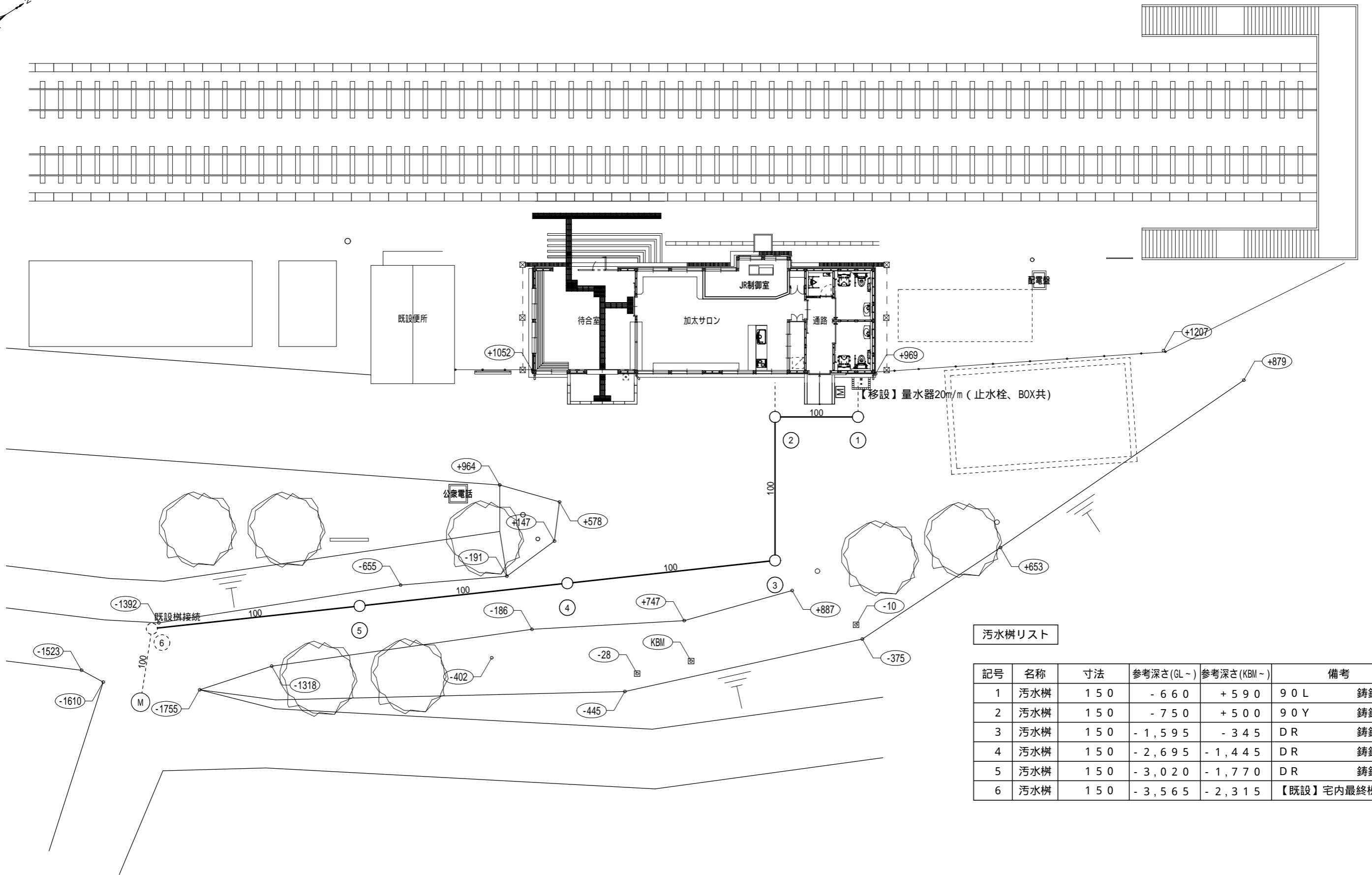
- 1) 陸上ポンプ、送排風機(エアハン含む)の電動機は、すべて全期防まつ形とする。 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。 3) システムが分かるように、必要箇所(機械室、P S内等)に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッチングシートとする。 4) 機器・配管・支持金物は、絶縁処理を行うこと。 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の種類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあつては施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。 7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準原、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。 8) 雨がかり部に取り付けられるガリリのチャンパーには、水抜きを設けること。 9) 屋外埋設管(給水、消火、ガス)には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設管を施工すること。 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持架を使用すること。 11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。 13) 地中埋設配管については、下記の次下対策を講ずること。 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもち、必要箇所は必要に応じコンクリートで保護する。 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用すること。 14) 屋外露出及び多澁面所(トレンチピット等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。 15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。 16) 合成樹脂製カパーの仕上げについては、保温見切り箇所には葡萄の取り付けを行うこと。 17) 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。

11 指定資材及び参考見積りメーカー

Table with 2 columns: Component Name (e.g., 配管, 継手, 弁) and Manufacturer/Specification. Lists various pipe materials and their suppliers.

Table with 2 columns: Component Name (e.g., 通過装置, 減圧機) and Manufacturer/Specification. Lists various mechanical equipment and their suppliers.

【注記】 JISマーク、水マーク(JWWA:日本水道協会規格)、WSP(日本水道管協会規格)、SHASE-S(空気調和・衛生学会規格)、JPF(日本金属加工協会規格) SAS(ステンレス協会規格)の番号については、「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)」による。 JISマーク表示品と指定された資材は、工業標準化法施工規則に基づき、製品・包装の外、容器の外、結束荷札ごとの納品書にJISマーク表示のあるものとする。 設備機材等評価名簿とは、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」設備機材等評価名簿(最新版)をいう。但し、評価名簿による場合、「納入地区及びアフターサービス地区」に中部地区が含まれていて、評価の有効期間内にある場合に有効とする。



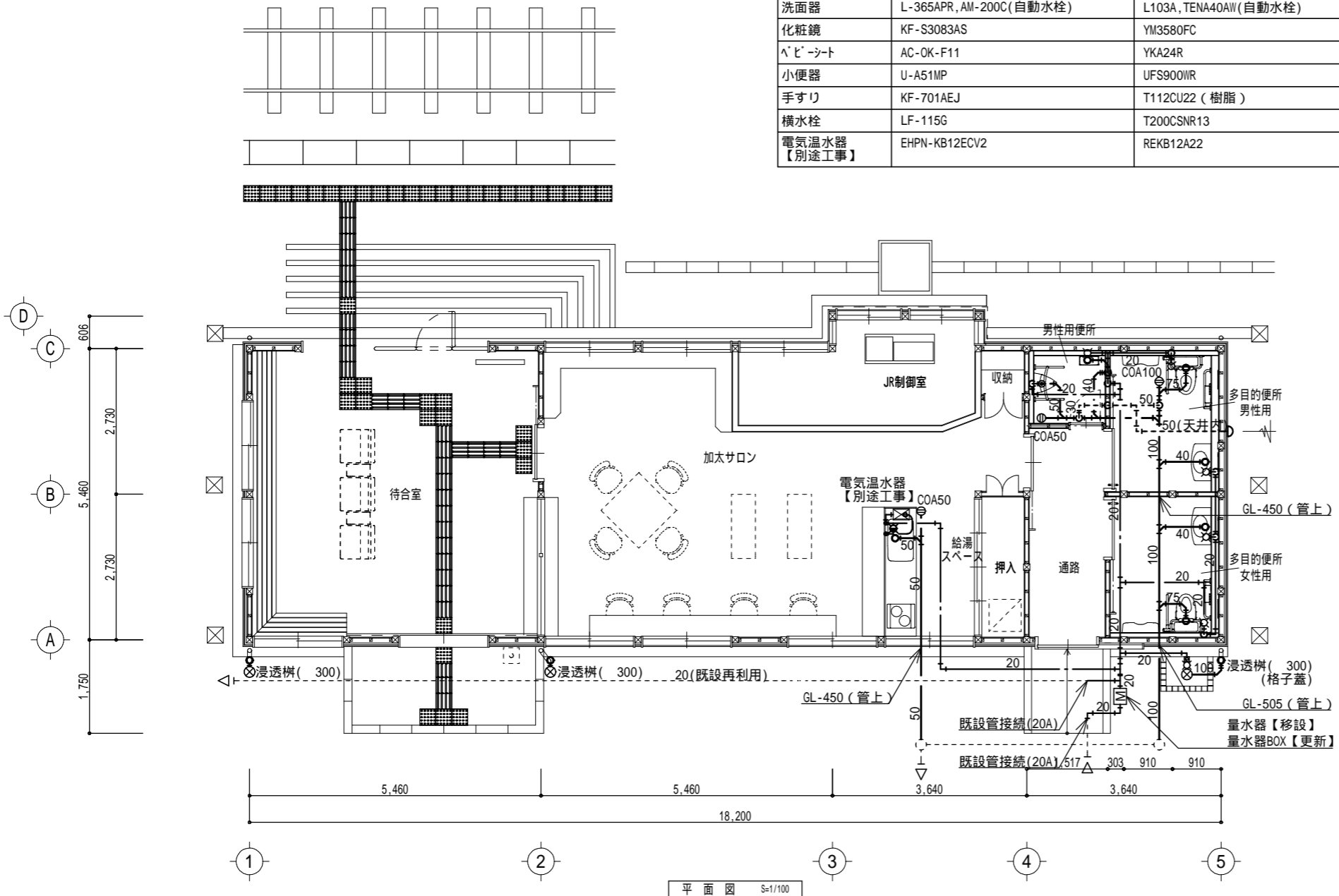
汚水樹リスト

記号	名称	寸法	参考深さ(GL~)	参考深さ(KBM~)	備考
1	汚水樹	150	- 6 6 0	+ 5 9 0	90 L 鋳鉄製蓋
2	汚水樹	150	- 7 5 0	+ 5 0 0	90 Y 鋳鉄製蓋
3	汚水樹	150	- 1, 5 9 5	- 3 4 5	DR 鋳鉄製蓋
4	汚水樹	150	- 2, 6 9 5	- 1, 4 4 5	DR 鋳鉄製蓋
5	汚水樹	150	- 3, 0 2 0	- 1, 7 7 0	DR 鋳鉄製蓋
6	汚水樹	150	- 3, 5 6 5	- 2, 3 1 5	【既設】宅内最終樹

配置図 S=1/200

衛生器具表

名称	参考品番		仕様・付属品	加太サロン	男性用便所	多目的便所 男性用	多目的便所 女性用	屋外	合計
	LIXIL	TOTO							
洋風便器	BC-P20HM	CS597BCS	(C1200S)(掃除口付) ロック、暖房洗浄便座(金属プレート・蓋無し)、他付属品			1	1		2
手すり	KF-920AE70D12	T112CL10	(腰掛便器用L型・樹脂被覆タイプ) 取付金具			1	1		2
手すり	KF-471EH70	T112HK7	(跳上型・ロック付・樹脂被覆タイプ) 取付金具			1	1		2
背もたれ	KFC-271T1U2	EWC385CS	(ソフトタイプ) 固定金具			1	1		2
紙巻器	CF-63HST	YH702	(棚付二連・耐荷重)			1	1		2
手洗器	YL-A35HC(自動水栓)	LSH50AP	壁給水、壁排水、他付属品	1					1
洗面器	L-365APR, AM-200C(自動水栓)	L103A, TENA40AW(自動水栓)	(L511)(車いす用・壁掛形) 自動水栓(自己発電)、壁給水、壁排水、他付属品			1	1		2
化粧鏡	KF-S3083AS	YM3580FC	耐食鏡(350×800)			1	1		2
ペビ-シート	AC-OK-F11	YKA24R	固定金具			1	1		2
小便器	U-A51MP	UFS900WR	自動水栓(自己発電)	1					1
手すり	KF-701AEJ	T112CU22(樹脂)	固定金具	1					1
横水栓	LF-115G	T200CSNR13	水栓柱(ステン製)					1	1
電気温水器 【別途工事】	EHPN-KB12ECV2	REKB12A22	飲料水用(12L:1 200V 1.5kW)、フィルタ付止水栓、排水金具、固定脚、他付属品	1					1



凡例

— — — — —	新設給水管
—————	新設排水管
-----	新設通気管
-----	既設給水管
○	新設汚水栓
⊗	新設雨水栓

居室換気計算

階	部屋名	面積 m <sup>2</sup>	天井高 m	気積 m <sup>3</sup>	24時間換気		設計風量			備考
					回数 回	必要換気量 m <sup>3</sup> /h	風量 m <sup>3</sup> /h	機器 記号	台数 台	
1	加太サロン	43.00	2.90	124.70	0.3	38	100	レンジフード	1	

換気回数による計算

階	部屋名	回数による			設計風量 m <sup>3</sup> /h	換気機器 番号	判定		
		面積 m <sup>2</sup>	天井高 m	室容積 m <sup>3</sup>					
1	多目的便所 男性用	5.70	2.50	14.25	10	143	150	VF-2	OK
1	多目的便所 女性用	5.70	2.50	14.25	10	143	150	VF-2	OK
1	男性用便所	2.20	2.50	5.50	10	60	70	VF-1	OK

空調機器表

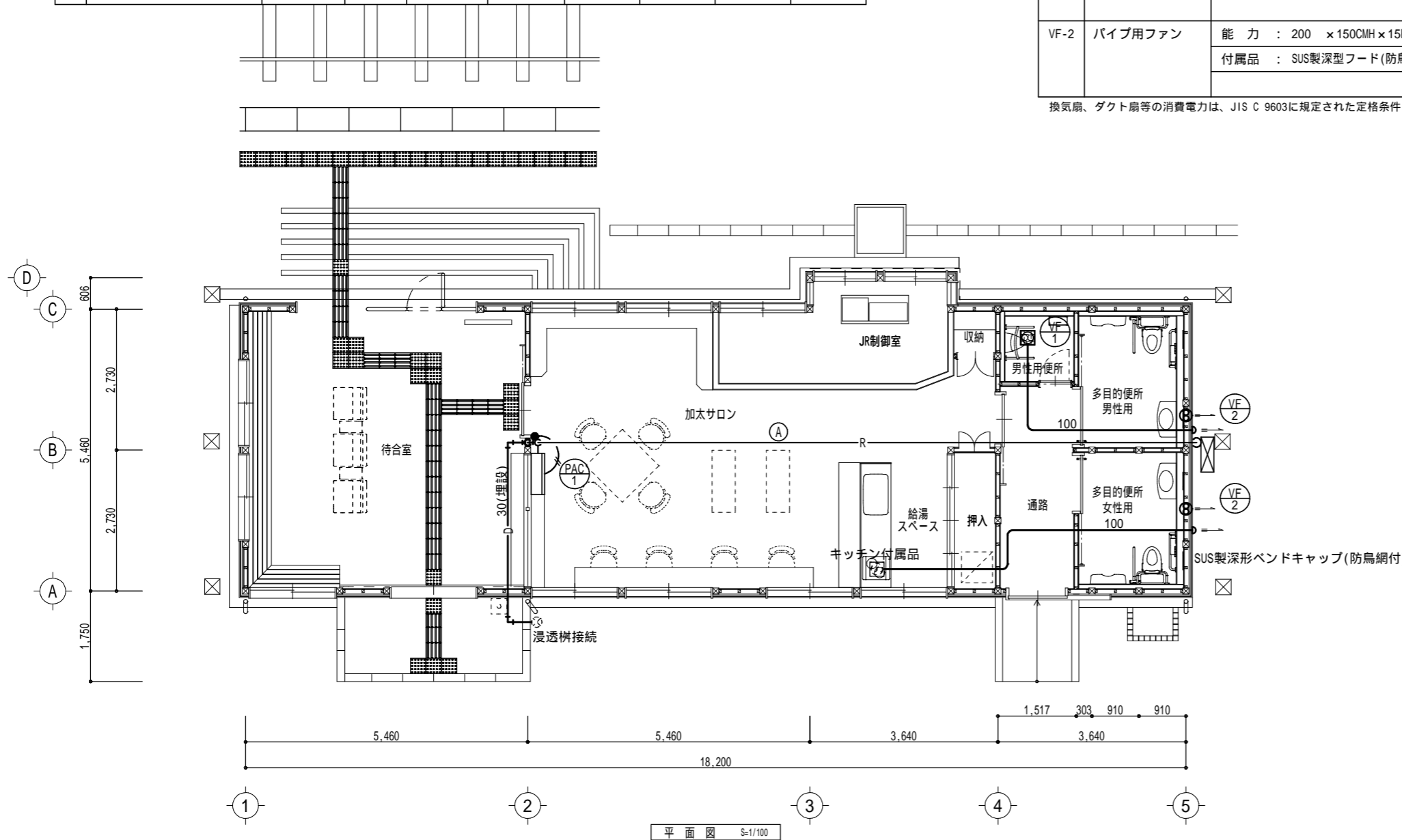
記号	機器名	仕様	定格消費電力	台数	備考
PAC-1	パッケージエアコン	型式 : 壁掛形	3 -200V	1	加太サロン
		冷房能力 : 10.0 kW	(冷) 2.92kW		ワイヤードリモコン
		暖房能力 : 11.2 kW	(暖) 3.60kW		コンクリート製据付台、転倒防止金具
		圧縮機 : 2.05 kW			参考型番 : RPK-GP112RSH4
		室内ファン : 0.040 kW			
		室外ファン : 0.20 kW			
		液管/ガス管 9.52/15.88			

冷暖房能力及び電気特性は、JIS B 8616:2015に規定された定格条件による。

換気機器表

記号	機器名	機器仕様	電気容量	個数	備考	
VF-1	天井埋込形換気扇 (低騒音形)	能力 : 100 × 70CMH × 30Pa	1 100V	9.3 W	1	男性用便所
		付属品 : 天井吊金具、SUS製深型フード(防鳥網付)、他一式				参考型番 : VD-10ZC12
VF-2	パイプ用ファン	能力 : 200 × 150CMH × 15Pa	1 100V	9.5 W	2	多目的便所(男性用、女性用)
		付属品 : SUS製深型フード(防鳥網付)、他一式				参考型番 : V-20PS2

換気扇、ダクト扇等の消費電力は、JIS C 9603に規定された定格条件による



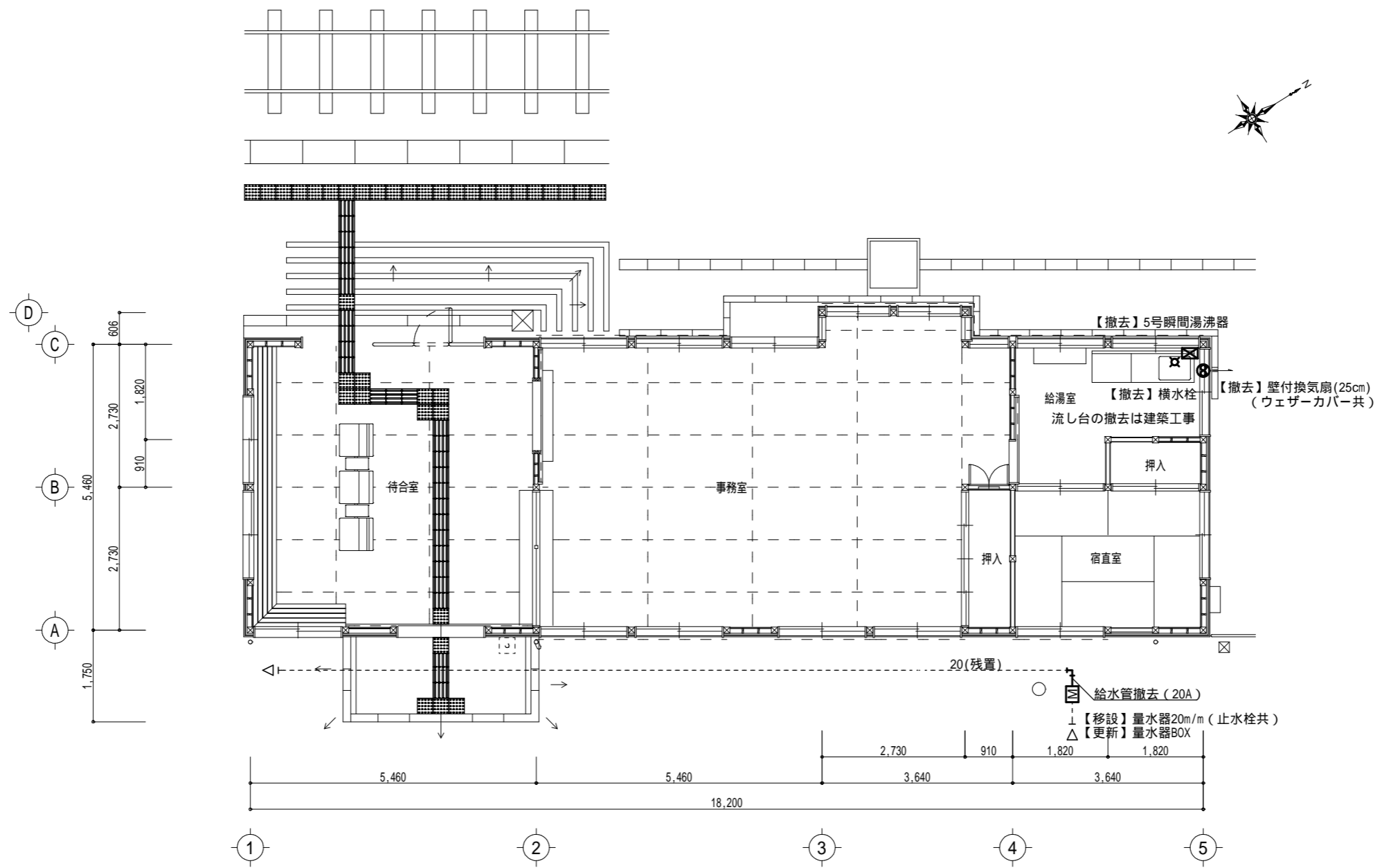
凡例

—R—	冷媒配管
—D—	ドレン管
●	ワイヤードリモコン
—/—	EM-CEES 1.25 mm <sup>2</sup> - 2C
—	スパイラルダクト

記号	液管	ガス管	連絡配線
Ⓐ	9.52	15.88	EM-CE2.0mm <sup>2</sup> -3C

連絡配線は冷媒管と共巻きとする。  
冷媒管径、連絡配線、ワイヤードリモコン配線は参考とし、製造者の標準仕様とする。

備考				設計代表者 一級建築士 352551 田端 進也 三重県知事登録第1-861 一級建築士 352551 田端 進也			設計担当者 一級建築士 332033 井上 貴智 一級建築士 372093 南 賢治			SCALE A3 : 1/100 DATE R 3.3		工事名称 JR 加太駅舎改修工事 図面名称 空調換気設備図		M-05



平面図 S=1/100

不要な既設管は撤去すること

備考	 (株)田端隆建築設計 三重県知事登録第1-861 一級建築士 352551 田端 進也	設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称 JR加太駅舎改修工事 図面名称 改修前平面図	M-06
		一級建築士 352551 田端進也 一級建築士 332033 井上貴智 一級建築士 372093 南賢治	一級建築士 372093 南賢治	A3 : 1/100 DATE R 3 . 3		